

科目名	ビジネスコンピューティングセミナー Business computing Seminar						
科目担当者	鬼束 祐子 ONITSUKA Yuko						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 進路支援科目] 他学部他学科履修○					ディプロマポリシーとの関連	(3)(5)
授業の概要	指定テキストに沿って、実際のビジネスシーンで使用される様々な文書について理解できるように学習していく。 また、その文書作成に必要なデータの集計や分析方法、活用方法について学習していく。						
授業の到達目標	①様々なビジネス文書の種類と用途について理解し、作成できる。 ②Excelを使用して、データ集計やデータ分析を行うことができる。 ③日商PC検定「データ活用」3級を取得する。※受験料は、5,500円(税込)						
授業計画・内容	1	ガイダンス					
	2	Excelの基本操作(オートフィル、計算式の入力、並べ替え、表示形式変更)					
	3	ピボットテーブルの作成と操作					
	4	業務に応じた計算・集計処理(四則演算、関数)					
	5	グラフ作成、複合グラフの作成					
	6	取引の仕組みと業務の流れ、取引で使用する文書					
	7	財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)					
	8	データ集計(ピボットテーブル、集計機能、関数による集計)					
	9	売上集計処理					
	10	アンケート集計処理					
	11	請求書作成					
	12	実践問題演習(日商PC検定 模擬試験問題①)					
	13	実践問題演習(日商PC検定 模擬試験問題②)					
	14	実践問題演習(日商PC検定 模擬試験問題③)					
	15	実践問題演習(日商PC検定 模擬試験問題④)					
授業外学修 (事前学修)	次回の授業範囲について、テキストを確認し予習してくる。(毎週2時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎回の授業で学習した内容について復習をしておくこと。(毎週2時間程度) 検定試験取得に向け、問題演習を解き理解を深めること。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	課題提出					50%	①、②、③
定期試験					50%	①、②、③	
成績評価基準	秀：(評点90点以上)到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点80点~89点)到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点70点~79点)到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点60点~69点)到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点60点未満)到達目標に達していない場合						
教科書	いちばんやさしい日商PC検定データ活用3級 ズバリ合格BOOK 技術評論社(¥2,860(税込))						
参考文献							
その他	意欲をもって取り組み、資格取得を目指すこと。						